

丸の内会場  
+ オンライン  
同時開催!バックカスティング思考と取締役会改革  
～東証の「株価を意識した経営」要請への対応～

日時

2023年5月18日(木) 18:00～19:30 (受付開始 17:30)

※ 夜間開催ですので開始時間ご注意ください。後日の録画配信も予定しております。

会場

AP 東京丸の内 (東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階)

参加費

会場参加 : 会員 2,000 円 / 一般 4,000 円 (税込・お食事は付きません)

オンライン : 会員 2,000 円 / 一般 3,000 円 (税込・オンライン決済でお支払いください)

東京証券取引所による2023年3月31日に発信した全上場会社向けの要請(『資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について』)は、これからの企業経営者を長く苦しめることになろう。長期的企業価値向上を辛抱強く訴えてきた経営者の多くは、超短期的に投資家対応に追われることも考えられる。また、多くの機関投資家のエンゲージメントも新たな対話を迫られることになる。

取締役会の活動も資本コストや企業価値に焦点を当てた活動にシフトせざるをえないし、社外取締役の責任は格段と重くなり、「名こそ惜しけれ」と考える方々の社外取締役への就任は難しくなることも予見される。

花盛りの統合報告書もその内容を相当変えなければならないであろう。企業経営も情報開示も混沌とした時代に入ると思われる。対処療法的な処方は今や意味がない。教科書的には超短期・短期・中期・長期・超長期もというあらゆる時間軸を想定した隙の無い経営と開示を行うことが必要と言えるが、それが一体何かについて講演者自身にも今具体的解がない。今回は「バックカスティング思考」を手掛かりに、参加者の皆様と一緒に考えてみたい。

講師

北川 哲雄 (きたがわ てつお) 氏

青山学院大学名誉教授 / 東京都立大学特任教授

1981年以來 2005年まで野村総合研究所やモルガン銀行(現 JP モルガン・アセットマネジメント)等にてリサーチャーおよびアナリストとして従事した後、2005年青山学院大学教授、2019年より現職。最近の著書・共著として『ESG カオスを超えて—新たな資本市場構築への道標』(中央経済社)2022年、『サステナブル経営と資本市場』(日本経済新聞出版社)2019年がある。また現職の主な社会的活動として、環境省『ESG ファイナンスアワード』審査委員長、経済産業省『非財務情報開示研究会』座長、日本経済新聞社『統合報告書アワード』審査委員長、日本 IR 協議会『IR 優良企業』審査委員長を務める。



## 今後の勉強会予定

第143回  
6月開催

【題目】内部統制報告制度(JSOX)の見直しについて(仮題)

【講師】詳細が確定次第ご案内いたします

お申込み

会場・オンラインそれぞれお申し込み方法が異なります。詳細はご案内メールにてご確認ください。  
メールが届かない方は下記までご連絡ください。

[お問合せ先] 実践コーポレートガバナンス研究会 セミナー事務局 [seminar@icgj.org](mailto:seminar@icgj.org)

## 会場のご案内

会場 **AP 東京丸の内**

住所 東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階  
Tel: 03-5224-5109

交通 JR・丸ノ内線「東京駅」／丸の内線・千代田線・半蔵門線「大手町駅」から徒歩約4分  
都営三田線「大手町駅」D6出口直結



主催



一般社団法人実践コーポレートガバナンス研究会

ウェブサイト: [www.icgj.org](http://www.icgj.org) | Mail: [contact@icgj.org](mailto:contact@icgj.org) | Tel: 03-3539-3208

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-18-6 クロスオフィス内幸町 3F